喝破だより 四恩の里

喝　破　五　訓

一、よろこんで与える人間となろう
一、いのちを大切にする人間となろう
一、心静かに考える人間となろう
一、使命に生きる人間となろう
一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発　行　公益財団法人 喝破道場　社会福祉法人 四恩の里　宗教法人 報四恩精舎　発行者　野田 大燈
住　所　〒761-8004　高松市中山町1501番地9　TEL 087-882-4022　FAX 087-881-5906　一部500円
E-mail　kappa@kappa.or.jp　URL https://www.kappa.or.jp　郵便振替口座　徳島　01630-6-9731

巻頭言

コロナ感染
― 恥ずかしき不祥事 ―

― コロナ下に咲き誇る菊芋の花 ―

残暑、そして台風下での水害・地震等の自然災害、更にコロナ禍のお見舞いを申し上げます。

私儀、８月19日にコロナ感染が確認され、目下蟄居謹慎中です。

７月に後期高齢者として二度のワクチン接種もして頂きました。

私共は共同生活を常としていますので、マスク装着・手洗いなどは当然として行っています。

先日、以前からの肩こり感から知り合いの鍼灸院で治療を受けました。

過剰サービスの鍼治療を頂いて少しぐったりでした。

就寝中に身体全体に酷い倦怠感があり熟睡は摂れませんでしたが、起床後は塾生と共に坐禅・朝課・朝食と過ごしました。

禅宗では「三黙道場」として当然のことで摂食時は無言なのですが医師は「食事中に一言も喋らない、なんてあり得ないでしょう」との疑問に修行の説明をしました。

食事中の座位は約一ｍ間隔で、同じく一ｍ間隔で向かい合う形であり、作業中にもマスク着用です。

私は朝食と夕食のみ同席ですが、それ以外の時間は陶芸工房や来客応対その他に時間を使っていますので塾生との接触は少ないです。

８月19日小雨の中を、咳と鼻水の風邪症状で病院に行くと、玄関の体温測定で３６、５℃の平熱でしたが、受付で「風邪症状なので内科受診を」と告げると発熱外来に案内され「携帯電話で呼び出しがあるまで車内で待機するように」とのこと。この時から対応の看護士さんの言動に緊張感を感じ、風邪くらいでどうしたのだろう、と思っていました。

途中でトイレに行って帰ってくると看護士さんが小走りに来て「和尚さん、先刻トイレに行かれましたねと」とのこと。「はい、それが何か？」と「和尚さんに似た方がトイレに入っていかれたとの通報がありました。勝手に車外に出ないで下さい」とのこと、何だか被疑者扱いのようでした。

暫しして降りしきる雨の中を合羽姿の看護士さんが血圧・脈拍、そして鼻からのＰＣＲ検査に来て「そのまま待機して車外に出ないように」とのこと。30分後に「はい、コロナに感染していますので帰宅して部屋から出ずに人との接触を禁止します」とのこと…。

よくは理解できませんでしたがこの時点から私は【コロナ感染者】となりました。

保険所からの問い合わせで濃厚接触者としての道場生や坐禅会メンバー、親族のアドレスを知らせ、私の感染をメンバーや肉親縁者、そして職場にも知らせました。

翌朝の20日保健所より病院を指定され、体温・脈拍・血圧、そして同じく鼻からのＰＣＲと肺のＣＴ検査に出向きました。

午後に指定された時間に伺うと男性医師より「喝破道場では幾名ほどがどのような修行をされているのか」とか「外人さんも参禅で来られているとか…」の質問に「あのう、私はコロナなのですか？」と問うと「えぇ、まぁ感染はしているのですが何処も悪くないのです。従って入院もホテル待機も必要ないので10日ほど自宅でゆっくりお過ごしください…」

自宅待機して八日目、保険所から「もうあなたのコロナは待機解除になりましたので、ご自由に行動下さい」

自分が感染して苦しみ、死に至るともそれは自己責任だ、と思っていましたが、感染してもされても、もう世界は一蓮托生のコロナだと実感しました。

― 大燈記 ―

自立塾（一七九）

― 海へ行こう ―

海水浴へ

四日に塾生の皆と海水浴へ行って来ました。

平日とあって地元のシークレットビーチは貸し切でした。毎年バナナボートで遊んでいましたが、劣化して空気漏れの為断念し、今年は頂いたトーイングチューブ（船などでえい航して遊ぶ円形の浮き輪）で遊びました。

海を楽しむ

トーイングチューブの魅力は、海の上を飛ぶように走る疾走感です。浮き輪に乗って全身で風と水しぶきを浴びながら、水上から見られる景色を独り占めできます。

そして、ウエイクボードにも挑戦しました。初めての者がボードの立つことは難しいですが、H君が見事にライドオン！

ウエイクボーダー

六回ぐらい挑戦し、立つことができました。とても気持ちよさそうに波に乗っていました。立つことができなかったS君は次回リベンジです。海に入らなかった者は釣りを楽しんでいました。釣り上手？なN君はベラを釣り上げ満面の笑み。

そして、誰もが何より楽しみにしていたのでBBQです。

やっぱりBBQ！

海で遊んだら食欲も爆発！よく食べました。浜辺で食べるお肉は最高ですね。

良く遊び、良く食べ、最高の夏の思い出となったことでしょう。

香川本鷹

台風以前は雨の降らない炎天下が続き、散水用のタンクが空になった数日後に台風と長雨でした。発芽の遅れから植え付けも遅れ、成長を心配していた香川本鷹ですが、降り続いた雨で一気に成長し下旬には大きい株で背丈ほど成長してくれました。

立派な青唐辛子

青い唐辛子から赤く染まって赤唐辛子になりますが、青唐辛子は青唐辛子で需要があり、柚子胡椒の材料としてやピクルスにしたりと料理に良く使われます。９月から赤唐辛子の収穫も始まります。

是非、香川本鷹ご賞味ください。

頑張れ!!『自立塾』
私達も応援しています。

蛻変（ぜいへん）の経営
大坂塾

http://www.osaka-juku.com/
本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006
香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『喝破道場』
私達も応援しています！

株式会社ギフトグッズ
香川県高松市六条町1205-1
Gift Goods
株式会社ギフトグッズ
TEL　087-814-4990
FAX　087-814-4991
新しい世界を楽しもう

ハーブ園便り

台風９号は８日に九州に上陸し、香川県には９日に最も接近しました。風速１４ｍの強風にビニールハウスが飛んでしまうのではないか、ハーブが倒れてしまうのでないか等心配はつきませんでしたが、ハーブ園では大きな被害も無く済みました。中旬の秋雨前線は長雨こそ続きましたが、被害なく九月を迎えることができました。

ハーブ園では雨を受けて路地で育てているミントやレモングラスが元気に育っています。

前回はスペアミントを特集させてもらいましたので、今回はレモングラスをご紹介いたします。

レモングラスは、東南アジア、南インドに自生するイネ科の植物です。草丈は１～２ｍほどに生長し、葉からレモンの香りがするために「レモングラス」と呼ばれるハーブの一種です。タイ料理のトムヤンクンの材料にも使われることでも有名です。レモングラスは熱帯地方原産なので、高温多湿を好み、地植えにすると年々大株に生長します。レモングラスは熱帯地域が原産の植物なので寒いのはとっても苦手です。目安としては冬場の気温が５度以上ないと越冬できないので、香川県でも露地でのレモングラスの冬越しはなかなか難しいハーブのひとつです。

ハーブ園でも毎年越冬を試みますが、成功したのは数回です。

レモングラスは夏のハーブですので、５月に植えつければ、８月から収穫できます。レモングラスは使用したいときに使用したい分だけ株元でカットして使います。収穫したレモングラスを水洗いし、２～５ｃｍにカットし、ティーポットに入れ、お湯を注いで５分でフレッシュレモングラスティーの出来上がり♪

スッキリさわやかで香りも良く、飲みやすいハーブティーです。

レモングラスの香りには、人の脳を刺激する作用があり、疲れたときや元気がないときに気持ちをリフレッシュさせてくれます。また、レモングラスには胃の働きを助けて消化を促進し、脂肪の分解を促す作用もあるといわれています。食べ過ぎて胃もたれしたときや胸やけのするときなど、レモングラスのハーブティーがおすすめです。そのほかにも、レモングラスには血行を促進し、貧血を予防する効果があるといわれています。

フレッシュのレモングラスはなかなか手に入らないですが、乾燥しているレモングラスは多くのお店で取り扱っています。

是非、レモングラスを生活にとりいれてください。

『自立塾』
私達も応援しております。

企業研修

「新入社員研修所感」

二日間にわたり、曹洞宗禅宗喝破道場にて新入社員研修を受けました。

１日目については、オリエンテーション後に、禅について、作法について学びました。

禅というものの、私が持っていた今までのイメージは忍耐力が必要で、苦行の１つなのではないかと思っていましたが、ビデオ視聴やパンフレットの説明を受けて、誰でも取り組む事が出来、心を整わせる事を目的にしているんだなと、認識し直す事が出来ました。

日中の活動としては、農作業（ハーブの選別）の手伝いをしました。ハーブ選別は、喝破道場内で行われており、ローズマリーという種目のハーブ茶を禅ハーブというブランド名で実際に販売しているという事でした。

選別作業中は、必要以上の私語はなく、黙々と作業を行う事で、自分の集中力の向上にとても役立ちました。また、ハーブ自体もとてもいい香りがする為、今度五色台に立ち寄る事があれば是非購入してみたいなと思いました。

１日目は夜について、初めての坐禅に取り組む事になりました。作法をもう一度教わりながら、坐禅場内へ入って行く時は少し緊張しました。また、約１時間近く、身動きをせず、じっと座り続ける事に抵抗も少なからずありました。しかし実際にはとてもリラックスした姿勢で取り組む為、意外にも苦痛とは思いませんでした。確かに、時間の長さから、自然と考える事をしてしまったり、ネガティブな事を想像してしまう時間もありました。それでも、終わった後には頭がリフレッシュされ、よりリラックス出来たなと実感する事が出来ました。

２日目の朝は、坐禅から始まったのですが、早朝にも関わらず坐禅中は眠たくなることもなく、終わった後は、より頭が冴えた気がしました。２日目の日中については、道場周辺の清掃をしたり、唐辛子の収穫の手伝いをしました。唐辛子については、道場近くの畑でつくられており、今後県の特産品となっていく予定だとの事で貴重な経験をさせて頂いたなと思いました。

２日間を通して、一番驚いた事は食事に対する礼儀、作法です。一食目を頂いた時には、何故かお皿の上に漬物のたくあんが置いてあるのか不思議に思っていましたが、お湯を食後の食器に注いで、たくあんでお皿からお箸まで洗っているのを見て、特徴的な食事の仕方だと強く印象に残りました。こちらも大変貴重な経験でした。

最後になりましたが、２日間、喝破道場で経験した事はこの辛抱さを高める為の修行だったと思います。今後の会社員、社会人としての糧にしたいと思っております。ありがとうございました。

S社　M・K

『自立塾』
私達も応援しております。
CSGSK
責任感ある人づくり・24時間サービス
後藤設備工業株式会社
□本社/〒761-8013 高松市香西東町645番地1/TEL.087-881-3116(代)/FAX.087-881-0673
□松山支店/〒791-1115 松山市土居町802番1/TEL.089-905-1150　/FAX.089-905-1160
URL:http://www.csgsk.co.jp

『自立塾』
入塾生募集中！！
自分を変えたい　変わりたい　あなたへ
公益財団法人喝破道場
〒761-8004　香川県高松市中山町1501-9
TEL　087-882-4022
FAX　087-881-5906
Email:kappa@kappa.or.jp
https://www.kappa.or.jp/

＜ハイビスカスと桜草＞

安部麗子

小きな植木鉢に、奇麗なハイビスカスが植わっています。小さな木ですが、花をたくさんつけて、植物公園の売店にならんでいます。

同じ鉢植えを、貧しい画学生の娘さんと、お金持ちのおじいさんが買ってゆきました。

二人とも、身寄りのない一人暮らしです。

娘さんは、ハンバーガーショップでアルバイトをしています。絵に描くために、いろんな花を育てていますが、つましい暮らしの中で、久しぶりに買った花です。

このハイビスカスは、大きな黄色の中心に、えんじ色の筋がくっきりと入っている夢のような花で、見ているだけで幸せになれる気がするほどです。

娘さんは、何枚もスケッチして、一番気に入った一枚には色をさして、きれいな絵に仕上げます。

幸せを感じていたのは、隣街に住むお金持ちのおじいさんも同じです。来る人ごとに自慢していましたが、花が終わると面倒を見なくなったので、たちまち枯れてしまいました。

でも、娘さんのハイビスカスは、花が終わった後も、肥料と水をたっぷり与えられて、いつまでもいきいきしていました。

やがて、冬が近づいてくると、どの鉢も元気がなくなってきます。ハイビスカスも、一枚、また一枚と、葉っぱが落ちてゆきます。

娘さんは、出来るだけ丈を切り詰めて、狭い部屋の片隅にいれてやります。

こうして長い冬がすぎると、すっかり枯れたように見えた木の肌に、米粒ばかりの小さな芽がふくらみます。よっぽど注意してみないと判らないくらいの膨らみですが、娘さんにははっきり判ります。それはまるで、卵の中のヒナが、嘴で殻をつついているようなのです。

もう大丈夫。鉢はまた外に出されます。米粒ばかりの膨らみは、そのまましばらく変わらないので、気のせいだったかと思うほどです。そして、ある日、とうとう小さな緑色の頭がのぞくのです。

この木は遅咲きなので、他のハイビスカスが満開になったころ、ようやく葉っぱが茂ってきます。チューリップも水仙も、とっくに咲き終わったというのに、蕾の気配すら見えません。

鉢植えの根元には、時々、雑草や外の花からのこぼれ種が芽を出します。小さな桜草も、そんな身の上でした。まだしばらくは花の咲きそうもないハイビスカスのそばで、たちまち可憐な花をつけました。

野生種に近いのか、花屋で売っているのとは違って、ひょろひょろのびた茎に、つつましやかな花がついています。二つの植物は、一日中楽しそうにおしゃべりしているように見えます。

ハイビスカスの花が咲いたのは、夏も終わり、そろそろ秋に入ろうかという頃です。娘さんは、いつか描いた絵を、お店に持ってきて飾ります。お客さん達は、この絵を見ると、本当の花がそこにあるように感じるのでした。

ある日の事、立派な身なりのおじいさんが、外からこの絵をながめていましたが、しばらくすると、店に入ってきました。そして、この絵を売って欲しいと言いました。

「これは売り物ではありませんの。売っているのはハンバーガーですわ」と言って、娘さんが笑います。

「それならハンバーガーを売ってください」

おじいさんはハンバーガーをゆっくりと食べながら、絵をながめています。

その次の日も、そのまた次の日も、ハンバーガーを食べながら、絵をながめてゆきます。

ハンバーガーを十個たべたところで、娘さんは、絵をおまけにつけてあげることにしました。おじいさんはとても喜びます。

「だが、御好意だけいただいておきましょう。この絵は、ここにあれば、みんなの目を楽しませますから。

実は、この絵にそっくりなハイビスカスを持っていたことがあります。その花を見ていると、幸せな気持ちになると言った、若いお上人がおりました。

その方は、その年の冬に亡くなりました。

そんなことなら、その時さしあげればよかったのにと、悔やまれます。

結局、管理が悪くて枯らしてしまいましたのに」

「これとそっくりのハイビスカスが、うちの軒下に咲いていますわ。通りから見えますから、いつでもおいで下さい」

こうして、二人はお友達になったのです。

娘さんは、時々おじいさんの家にお邪魔して、花の世話をしてあげます。

庭のあちこちには、今はもうすっかり花のなくなった桜草が、来年に備えて、黒っぽい葉っぱを拡げています。

どこからか飛んできて、ハイビスカスの鉢で花をつけた、あの桜草と同じ葉っぱです。

二人とも、この花たちの歴史など知りません。

花たちだって、この二人が、かって同じ売店で、同じハイビスカスを買ったことなど、知るよしもないのでした。

了

ひみずの滝（十六）

田中　徹矢

「恩など何もない。わしはただ昔の借りを返しているだけだ」

「えっ？　僕は愚覚さんにはいただいてばっかりで、借りなんてないと思いますが」

愚覚の言葉を不思議がった。

「直接の借りではない。修験道に入る前のわしは犬畜生にも劣る外道だった。数々の非道のおこないを今では悔いている。借りを返すとはそのことだ。己の業の深さに気づいたわしは修験僧となった。贖罪の意味も込めて行脚している」

意外だ。今、目の前にいる愚覚からは想像もつかない。

「わしは感謝されるような人間ではない、ということだ。ただ瞬介、君が成長する姿を見ると、わずかでも借りを返せた気分になれる」

愚覚は背の高い木々に切り取られた空を見上げた。つられて瞬介も見上げる。遠くでトンビがピーヒョロロと鳴いた。

さらに一年が過ぎ、高校二年の夏休みとなった。変わらず瞬介は滝にて修行に励む。

正拳中段突き。矢をつがえた弓のように、背筋を意識しながら腕を脇に引きつける。足から腰、背中、肩、腕と順にひねり、そうして内部で蓄積させたエネルギーを矢である拳に載せて解き放つ。拳は最短距離を最速で走る。

一万本突きをはじめて二年。瞬介は一本目も一万本目も、寸分たがわぬ軌道、まったく同じ威力で打てるようになった。安定した立ち方も変わらない。

滝行と同じく、一万本突きについても疑問を持たないわけではなかった。中段突きなど空手では初歩の初歩。基本中の基本。できて当然の技だ。正直言って、やっていてあまり楽しくない。空手を志す者が憧れるのは、たいがい華麗な蹴り技だ。もしもこれが中段突きでなく、蹴りであればもっと楽しく稽古に身が入る。そういうふうに思っていた。

二年が経ち、その考えこそ幼稚なものだと気づく。ただひたすら中段突きを磨いた結果、瞬介が理想とする〝技の決まり〟が頻繁に起こるようになった。完璧な体の使い方ができたときにのみ起こる、あれだ。頭の中で、ぱしんと音が鳴り、直後、体に軽い衝撃が走る。

意識してできるものではなかった。完全に無心になれたときこそ起こりうる。滝行での精神的な変化が大きく影響した。〝究極の突き〟は始動から終わりまでの時間の感覚がない。ぱしん、の音とともに突きがそこにあるだけだ。〝突き〟がただそこにある。

以前は年に一、二回起こるかどうかだった。それが一万本突きを始めて頻度が増えた。始めて半年で月一、二回起こるようになり、それが月に数回、週に数回と、だんだん増えた。二年目の今では一日に数回、〝究極の突き〟ができる。

ぱしんっ。今日は最後の一万本目をこの〝究極の突き〟で締めくくることができた。

「かなり完成に近づいたな」

技の余韻に浸っていると、愚覚から声をかけられた。

「ありがとうございます。ひょっとして愚覚さん、少しやせました？」

最近の愚覚は、衣服がボロボロとなり、大柄な体はしぼんで見えた。鎖骨が浮いている。

「君に触発された。五色台での行で、自分を追い込んでいるのだ。何日も飲まず食わず、岩壁を登る。死にかけたことも何度かあった」

見た目で、行の厳しさが窺いしれる。

「それより、君の修行の成就が近づきつつある。ずっと中段突きばかりさせていた意味が、今は理解できるのではないかな？」

「はい。純粋にひとつの技を磨く意味がようやく分かりました。いや、分かりかけている途上ですね」

「そうだ。悟ってきたな。分かったと口にするのは、分かってないことなのだ。真理を掴んだと思った瞬間、手からするりと抜け落ちる。禅の難しいところでもある」

愚覚は穏やかに笑った。

（つづく）

戴き物一覧

7月21日～8月20日

一　書籍　神奈川県川崎市　平原ちひろ様
一　梨　石川県金沢市　上田　靜子様
一　ジュース詰合せ　千葉県流山市　陽廣院　様
香川県高松市　見性寺　様
香川県木田郡　藤井　遥　様
一　桃　山形県天童市　村山　光男様
長野県飯田市　平沢よし子様
兵庫県芦屋市　芦屋三戸岡クリニック様
一　桃、コーヒー　香川県丸亀市　森岡　優香様
一　お米、和菓子、野菜　大阪府羽曳野市　芝田　安弘様
一　コーヒー詰合せ　香川県高松市　高野　正彦様
一　しし肉　香川県高松市　和光自動車工業㈲様
一　ハム詰合せ　香川県高松市　中原　元子様
一　讃岐素麺　香川県観音寺市　匿　名　様

ご寄付

7月21日～8月20日

北海道札幌市　天童寺別院様
東京都荒川区　石井　智子様
岐阜県岐阜市　本覚寺　様
愛媛県松山市　栗田　良則様

令和３年度（８月20日現在）ご寄附総額は、九十一万二千円です。

皆様方の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

禅語紹介

単行本　２０１０／９
定価　７８０円＋税

野田大燈監修「平常心是道（びょうじょうしんこれどう）」から、禅語を一部抜粋してお届けします。

挨拶（あいさつ）

職場の人間関係がうまくいかない

「転職した本当の理由」を尋ねたある民間企業のアンケートによると、第１位は「上司との人間関係」でした。このアンケートでは、10位以内に「社長がワンマン」「同僚や先輩・後輩との人間関係」といった項目も入っており、いかに職場の人間関係が悩みの種となるかを物語っています。

人間関係の円満な進め方として、あなたも幼いころから親や学校の教師などから、「挨拶をするように」といわれませんでしたか。先人のいうとおり、人間関係において、「挨拶」は非常に重要なポイントです。

そもそも、「挨拶」とは、禅語です。門下の僧に禅問答をして、その悟りの深さを知ることを指していました。禅問答とは、悟りを開くために課題として与えられる問答のことで、禅僧は日常的に答えを探し求めます。その答えは複数あり、また、正解がどれなのかも自らが考えることです。伝えられないことを伝える文句が、禅問答なのです。そこから派生して、現在では、人に会ったり、別れたりする際に取り交わす礼を指すようになりました。

「挨拶」は、人間関係の基本です。人と心を通わせるきっかけになります。接客や営業においてはさらに重要で、気持ちのいい挨拶ができることは一番の根本であり、そこから仕事がスタートするといっても過言ではありません。

あなたは、職場で挨拶を積極的にしていますか。人間関係を嘆くよりも先に、幼子でもできる「気持ちのよい挨拶」を行い、人間関係の構築を図ってみましょう。

気持ちのいい「挨拶」で人間関係をスムーズに

「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、更なる社会貢献を図って参ります。どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附に対しましては、公益財団法人の活動として租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一号に規定する要件を満たしております。「税額控除に係る証明書」が発行されますので、節税としてもご活用下さい。

購読料　年間　五、〇〇〇円
ご寄付　一口　五、〇〇〇円
（一口以上、何口でも結構です）

郵便振替口座　０１６３０－６－９７３１
公益財団法人　喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカッパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下段一枠
（ヨコ８cm×タテ６cmほど）
年間12回　６０，０００円
受付　０８７－８８２－４０２２

八月の日鑑

8　薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加　於 高松イオン
15　山王小祭
高松市委託就労準備支援事業（毎週木曜日）
坂出市委託就労準備支援事業（毎週火・金曜日）

九月の予定

8　薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加　於 高松イオン
15　山王小祭
25　秋季彼岸会法要　午前十時より　於 報四恩精舎本堂
高松市委託就労準備支援事業（毎週木曜日）
坂出市委託就労準備支援事業（毎週火・金曜日）

大燈和尚八月の日鑑

2　香川農政局・香川ＪＡさんより補助事業のアドバイス拝聴　於 喫茶ゼルコバ
3　圓通寺「定例坐禅会」
4　社会福祉法人「四恩の里」施設管理者会議　於 若竹学園
4　講演「般若心経と写経」高松市内（ふれあいサロン）
5　ＪＡ香川に打ち合わせ訪問
12　村上学園様随流荘見学と情報交換
17　圓通寺「定例坐禅会」
18　圓通寺法話動画配信　演題「随流去」
19　宗教法人「絆会」との契約解除書類取り交わし
19　大林病院にて「コロナ感染」判明
19～26　圓通寺にてコロナ感染蟄居
27　保健所よりコロナ感染解除の報告あり

大燈和尚令和九月の予定

9　社会福祉法人「四恩の里」施設管理者会議　於 亀山学園
18　圓通寺法話動画配信　演題「念ずれば花ひらく」
20　圓通寺秋季彼岸会　香川県高齢者協会主催

第十回　圓通寺のフェイスブック　動画発信のお報せ

日時　九月十八日(土)十三時～
演題　「念ずれば花ひらく」
「野田大燈　フェイスブック」で検索

QRコード

編集後記

残暑お見舞い並びに、台風９号１０号、秋雨前線によりお亡くなりになられた方がたのご冥福をお祈り申し上げ、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

道場での被害は、強風をもたらした台風９号が寺務所前の大きな松（直径２３ｃｍ）を倒して行きました。その他に大きな被害がなかった事をご報告いたします。

十九日に体調不良を訴え病院に行った和尚さんが新型コロナウイルスの陽性と診断されました。ワクチンを二回接種していた為発熱もなく軽症で済みました。坐禅・朝課・食事等空間を共有する私を含め塾生全員が接触者と診なされＰＣＲ検査が必要との事で検査まで自室待機を余儀なくされました。

香川県でも感染者増加で検査まで日時を要し数日間缶詰め状態が続きましたが、全員が陰性反応で安堵しました。関係機関や塾生のご家族には大変心配をお掛けいたしました事をお詫び申し上げます。

いつ何処で感染するか分からないほど蔓延している昨今ですが、再度マスクの着用や手洗い、消毒、密集・密接を避ける、定期的な換気など、基本的な感染対策を徹底していきます。

―　大然後記　―

児童施設で働いてみませんか

職　種：管理者候補　医師（精神科医）
心理　保育士　児童指導員　事務員
勤務先：四恩の里 本部
児童心理治療施設 若竹学園
児童養護施設　亀山学園
自立援助ホーム　なごみハウス圓

連絡先　：香川県高松市中山町1501-192
社会福祉法人四恩の里 本部 ☎087-816-1380
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: 4on@4on.or.jp　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://4on.or.jp